

当科では、日本における HIV 感染症治療の向上のため、以下の臨床研究を行っています。

■臨床研究 HIV 感染者の長期合併症に関する研究

【研究概要】

■試験名 HIV 感染者の長期合併症に関する研究

■目的

HIV感染症治療の進歩により、感染症や免疫不全による疾患の管理は大幅に改善されました。一方で、治療が長期化することや、加齢に伴う合併症が近年問題となってきています。長期合併症である糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病・骨代謝性疾患・心血管疾患・認知機能障害はHIV感染者で発症する方が多く、早期発見や早期治療がより重要な疾患と考えられています。当科を通院しているHIV感染者の方で、これらの合併症がどの程度起きているのか、また治療がどのように行われているかを把握し、その影響や治療の効果を評価することで、HIV感染者の方の長期的な合併症対策に有用な情報が得られると考えています。

■研究対象症例

2013年1月より2014年8月の間に東京医科大学病院通院したHIV感染者。症例数は約1,100名。

■研究対象疾患

エイズ指標疾患を対象とし、診療録を参照し、患者背景（年齢・性別・既往歴・入院歴）、臨床症状、治療内容、主要臨床検査結果（血算・生化学・CD4陽性リンパ球数・細菌検査・核酸増幅法など）、臨床経過、画像検査結果について集計し検討する予定です。

■目標研究対象症例数と研究実施期間

目標研究対象症例数： 約1,100例

研究実施期間：倫理委員会承認後より2015年12月31日まで

■研究代表者

村松 崇（東京医科大学病院 臨床検査医学分野）

■研究事務局

東京医科大学病院 臨床検査医学科

〒160-8402 東京都新宿区西新宿 6-7-1 Tel 03-3342-6111 内線 5086